

もっと元気な、もっと豊かな、もっと住みやすい
“未来へ大きく羽ばたくまち!! かのや”の実現

所信 表明

中西茂市長が3期目のスタートを切って臨んだ3月定例議会は、2月24日から3月23日まで開かれ、市長が3期目就任に当たっての所信表明を述べました。今号では、所信表明と令和4年度当初予算について紹介します。

市政運営の4つの戦略

1 新型コロナウイルス対策の推進



- 3回目ワクチン接種の円滑な実施
- 市民や事業者への支援策の充実
- 地域の活力を呼び戻す経済対策

2 雇用と所得につながる力強い産業をおこすまちづくり



- 企業誘致の推進や新たな工業団地の整備
- 稼げる農林水産業の実現
- 地域特性を生かした広域観光の推進

3 いきいきと快適にらせるまちづくり



- 少子化対策の充実
- 雨水排水対策など防災や減災対策の推進
- 高齢者等の見守り活動や交通手段の確保

4 未来につながる活力あるまちづくり



- 利便性の向上などコンパクトなまちの形成
- 交流人口の拡大や移住・定住の促進
- デジタル化やGIGAスクール構想の推進

○新型コロナウイルス対策の推進
○雇用と所得につながる力強い産業をおこすまちづくり
○いきいきと快適にらせるまちづくり
○未来につながる活力あるまちづくり

の4つを柱に位置付け、まちづくりを推進してまいります。

とりわけ人口減少問題については、喫緊の課題です。このため、これまでの施策の検証をはじめあらゆる角度から検討し、具体的な対応策を構築するために人口減少対策本部を設置し、総合的に取り組んでまいります。

また、基幹産業である農林水産業については、農業産出額の1割アップを目指す

標に「かのや農業・農村戦略ビジョン」を関係団体と連携しながら見直し、若者にとって魅力的な産業となるよう取り組みを進めます。

このほか、大隅の中心都市として広域観光の振興や広域交通網の確保など、地域共通の課題に対しても周辺市町との連携強化を図り、大隅全体の浮揚・発展に向けた広域行政の推進に取り組んでまいります。

今後も、市民の皆様の声をしっかりと受けとめ、豊富な行政経験と実現力・突破力を生かして、もっと元気な、もっと豊かな、もっと住みやすいかのやの実現に、全力で取り組んでまいります。

組織 組織再編

● 人口減少対策本部の設置

将来にわたって活力のある地域社会を維持するため、人口減少対策本部を設置し、人口減少や少子高齢化の課題等を解決するための事業や施策を総合的かつ効果的に推進します。

● 活力ある農林水産業の振興

本市の基幹産業である農林水産業の更なる発展を図るため、農業部門を担当する農政課と林務・水産部門を担当する林務水産課に再編します。

人事 副市長人事

● 原口 学 副市長が再任

【略歴】
法政大学卒業後、昭和53年に市職員となり、農政部長、企画財政部長を歴任。平成26年2月28日から現職。任期は4年。



この度の市長選挙において、3期目の市政の舵取りを担わせていただくことになりました。その重責と、市民の皆様への期待を一身に受け、身の引き締まる思いであります。

私のモットーは「志高挑戦」です。志を高く持ち、失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦するという思いを込めた私の造語になります。私は、この言葉を常に念頭に置き、「未来へ大きく羽ばたくまち!! かのや」の実現を目指し、努力してまいります。

市政運営の基本姿勢

新しい資本主義の実現に取り組んでおります。

こうした国の動きを踏まえながら、本市においても新型コロナウイルス対策をはじめとする様々な課題に迅速に対応し、全ての市民が豊かに暮らせる持続可能なまちづくりを進めていくことが必要と考えております。

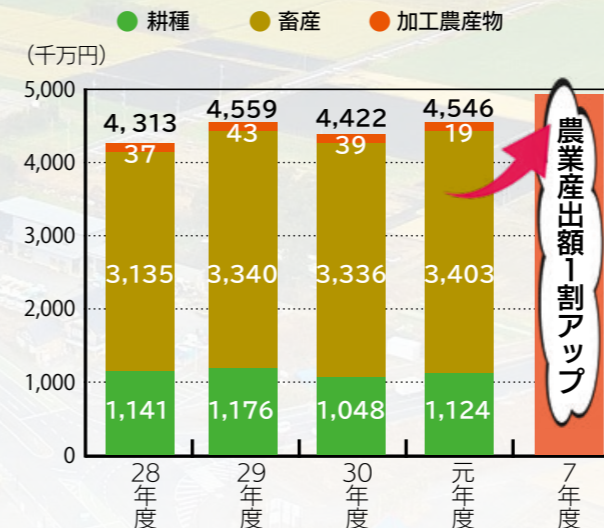
私は、これまで2期8年間の市政運営において、市内をくまなく見て回り、市民の皆様とふれあい、語り合う中で、地域を豊かにしようとするまちづくりに積極的に参加される姿や、それぞれの仕事に夢と誇りを持って取り組まれる姿を目の当たりにし、地域の変化を実感し将来に明るい希望と大きな可能性を感じているところです。

一方で、新型コロナウイルス対策や人口減少・少子高齢化、激甚化・頻発化する災害への対応はもとより、デジタル化、脱炭素化など新たな課題への対応も求められています。

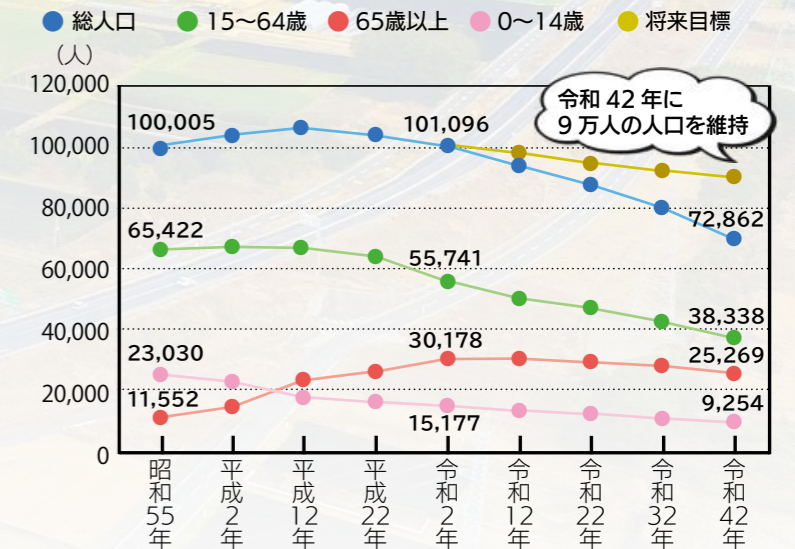
こうした課題にも正面から向き合い、市民の皆様がさらに幸せと豊かさを実感できるまちを実現していきたいと決意を新たにいたしました。

市政運営の4つの戦略

目標2 農業産出額（平成28年～令和7年）



目標1 年齢区分別人口の推移（昭和55年～令和42年）



※令和12年以降は推計値
資料：総務省「国勢調査」、鹿屋市「鹿屋市人口ビジョン」